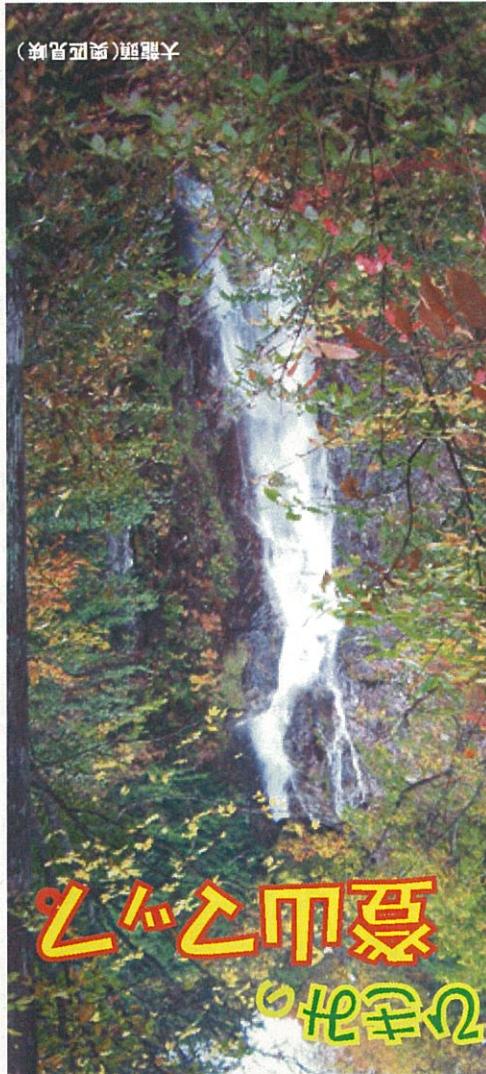


美濃商工会议所支所・四日市振興会
岐阜市教委分室
岐阜市立教委分室
岐阜県立四日市高等学校
〒509-1211

いよいよ米子駅へ向かう。
、そこには秋の紅葉で有名な
山口県・智頭の山々が見えていた。
車内は静かで、美しい景色
と音楽が心地よい。
幸運な旅となりました。
山口・智頭・鳥取・京都・奈良
木の音の響きが心地よい。
幸運な旅となりました。
(0856) <宿泊料金>
宿泊料金 (0856)
56-1126
56-0341
56-0980
56-0014
56-0209
56-0588
56-0061
56-0118
56-0652
56-0124
56-0049



匹見羅漢, 恐羅漢山コース

(匹見羅漢1334m、恐羅漢1346.4m 所要時間約2H)

恐羅漢は中国山脈盟主といわれている。南北に約1km離れて岩塊ピークがあり、双耳峰になっている。北ピークを恐羅漢、南ピークを匹見羅漢（旧羅漢）と呼んでいる。春はヤマザクラ、ツツジなどが山腹を彩り、ブナ、トチノキ、ナラ、カエデなど多様な広葉樹が新芽を出し、楽しませてくれる。匹見羅漢～恐羅漢～台所原～中川山～天杉山～三の滝までのコースは、昭和57年の島根国体の山岳競技の縦走コースとなった魅力いっぱいのコースである。

広見山, 半四郎山コース

(広見山1186.7m、半四郎山1126m 所要時間約3H30)

大正3年3月上旬の思わぬ大雪のために山頂付近で半四郎とその子、武若（18歳）の遭難死という平穏な山里の村人を驚かせた大きな事件があった。町史によると「・・・小屋へ引き返そうとしたがなかなか見つからない。吹雪は強まり夜の寒気は厳しかった。武若が苦痛を訴え、ついで今まで先頭に立って行動していた半四郎がへたばった。そこは、小屋まで300mの地点であった。」一度は登ってみたい山である。どちらからでもコースはあるが広見山から半四郎山まわりの方が比較的楽である。



半四郎山から見た向半四郎

天杉山コース

(標高1173.6m、所要時間約2H)

昭和57年の「くにびき国体」の山岳コース中間点にあって南に恐羅漢を、北に臥龍山が見え、広島側の山々一望できる。山の尾根とは思えないほど山頂は広く草原のようである。コースは整備されて、ハイキングコースのようで歩きやすいコースである。

安蔵寺山コース

(標高1263m、所要時間約2H30)

安蔵寺山は匹見町、日原町、六日市町の3町にまたがり県境を接しない単独峰では県内最高峰の山である。ブナの原生林や天然杉の生茂る秀峰である。山頂には安蔵寺觀音が鎮座し、自然保護と登山者の安全を見守っている。日本海をのぞむ眺めは見事である。

安蔵寺山の山頂



岩倉山コース

(1022.6m、所要時間約30分)

亀井谷から林道を登りきった登山口から、所要時間約30分で登れる初心者向けの山である。道川、亀井谷を挟んで春日山とむかいあう単独峰で道川のシンボルとなっている。

春日山コース

(標高989.2m、所要時間約1H30)

ナツアカネが乱舞する春日山の頂から眺める西中国山地の雄大な主稜は、いつも決まって青紫色に輝いている。双子峰の恐羅漢山に突き刺す亀井谷は眼前に深く沈み、東の天杉山塊をわたるブナの風。南方の五里山塊からその果てにかかる冠や寂地の山並みは感動する。

大神ヶ岳, 立岩コース

(大神ヶ岳1170m、立岩1181m 所要時間約1H)

懸崖の左から西に続く尾根には立岩がそびえていて縦走を楽しめる。「山葵天狗社」「三坂大明神」の祠があり、修験山伏が修行した場でもあるとい伝えられている。毎年6月第1日曜日には盛大に例祭が行われ、県内外からたくさんの方々が集い大神～立岩の夏山開き縦走登山を楽しんでいる。

三子山コース

(標高799.7m、所要時間約2H)

三子山は地元の山好きな者以外ほとんど知られていない山であり、登山者も少なく静かな山行ができる。また2つのピークを結ぶ稜線歩きが楽しめるほか、特に北側ピークからは遠くに日本海が広がり、足下にはめずらしい蝶が乱舞するなど眺めは抜群であり山登りの醍醐味を満喫させてくれる。

匹見町登山マップ



西中国山地国定公園に指定され、鮮やかな渓谷美をくり広げる匹見峠を見下ろす匹見の山々。そんな自然の心ところにいだかれて、みすみすしい時の流れに身をまかせれば、きっと忘れかけていた「自分」を再発見できるはず。豊かな自然いっぱいのコースを四季折々の景観を楽しみながら広葉樹林のコースを森林浴を楽しみながらゆっくりと過ごしてみませんか。高齢者から子供まで気軽に楽しめる登山・ハイキングを体験してみましょう。



心身の健康づくりのために
匹見町のすばらしい山々に登ってみませんか。